

製品ライフサイクルでの環境負荷削減を目指し、お客様とともに進める活動を実践しています。

■考え方

リコーグループは、自社の事業活動による環境負荷だけでなく、リコー製品の使用時に発生する分についてもお客様とともに積極的に削減していくかなければならないと考えています。このような考えに基づき、リコーグループではこれまで、消費電力や紙使用量を抑制する機能を拡充させ、製品本体の環境性能の向上に努めてきました。しかしさらに環境負荷削減効果を高めるためには、これらの機能が十分に活用されることが不可欠であると考え、製品使用時の環境負荷の見える化を通じた提案活動を展開しています。また、リコー製品の利用によるもの以外にも、リコーグループの社内で実践しているさまざまな環境負荷削減

活動をお客様にご紹介・ご提案しています。

■2010年度までの目標

◎省エネ・両面機能の活用状況の把握と利用率の向上

■2009年度のレビュー

お客様の省エネモードの活用率向上を目指し、国内では2008年からリコートクノシステムズを中心に、お客様先での提案活動を継続実施しています。@Remote(アットリモート)を利用したお客様ごとの製品ご使用時の環境負荷(CO₂)を試算し、環境負荷の見える化を通じた環境負荷削減提案活動も定着してきました。海外では2009年からお客様へ

の提案活動を開始しました。国内同様、@Remote等のツールを利用した環境負荷の見える化を通じて環境負荷削減提案活動を展開しています。

■今後の取り組み

国内・海外とも引き続き省エネ機能、両面機能の活用推進展開を図っていきます。また、お客様にとってより使いやすく、環境に優しい製品・サービスの提供に向けて検討を続けていきます。

お客様とともに進める

環境負荷削減活動

《リコーグループ／グローバル》

リコーグループでは、①再生機販売や、国内工場でのキッティングなどによる「環境負荷の少ない製品・サービスの提供」(お客様が「選ぶとき」)、②CO₂を見る化した提案による「リコー製品使用時の環境負荷削減」や「リコーグループ内実践活動で蓄積した環境負荷削減ノウハウの提供」(お客様が「使うとき」)、③使用済機器・容器等の回収サービスによる「資源の有効利用による環境負荷削減」(お客様が「戻すとき」)の3領域で、お客様の環境負荷削減を支援する販売活動を展開しています。

* 製品出荷時に、国内工場で個々のお客様の注文に応じたオプションを組みつけ後、製品は工場からお客様に直送されます。

お客様の活動・ニーズに関連した環境負荷を低減する製品・サービス(TGOS^{*1})

お客様の活動	お客様のニーズ	製品・サービスと貢献内容
選ぶとき	環境にやさしい製品を購入したい	・省エネ機器、再生MFP ^{*2} 、バイオマストナー ・循環型エコ包装による梱包資材削減
使うとき	消費電力や紙の使用実績を一括管理したい	・@Remoteご使用状況報告書サービスによるCO ₂ 見える化
戻すとき	紙の使用量を減らしたい	・両面機能/Scan to Email&Folder/ペーパーレスFAX機による紙削減 ・デジタルオンデマンド印刷による印刷物の在庫削減
	消費電力を減らしたい	・省エネモードの活用
	使用済み製品をリサイクルしたい	・トナーボトル/インクカートリッジの回収 ・使用済み機器の回収

*1 Total Green Office Solution 51,52ページ

*2 マルチファンクションプリンター

お客様の環境経営を支援する

TGOS (The Total Green Office Solution)

《リコーグループ/グローバル》

リコー製品がライフサイクルを通じて地球環境に及ぼす影響を、温暖化の面から評価すると、リコーグループの事業活動によって直接排出する温室効果ガス以上に、お客様先で製品が使われる際の電力や紙を原因とする発生量が大きいことがわかっています。このため、紙の使用量を抑えるための効率アップと電力消費量を低減することが重要です。

リコーグループの販売・サービス部門では、お客様への提案、商談、成約後のあらゆる段階で、自らの環境経営の社内実践を紹介し、お客様の環境経営の実現をサポートする活動をグローバルで展開しています。

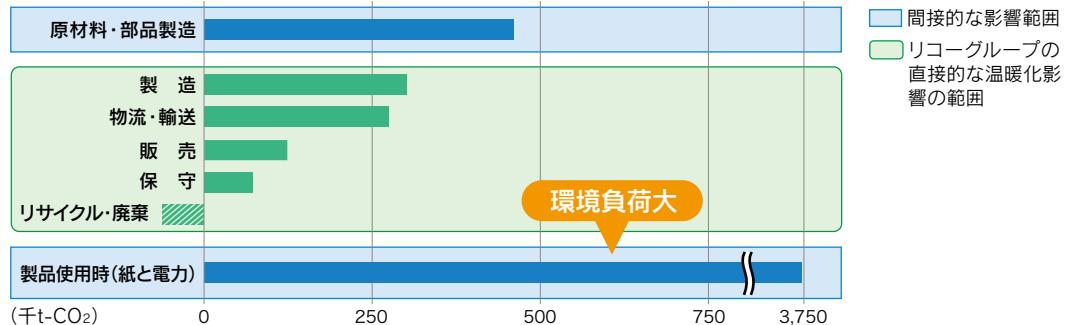
TGOSとは、お客様のオフィス機器のご使用状況を診断・分

析し、省エネや紙削減により総所有コスト (TCO)^{*1} 削減と同時に総所有環境負荷 (TEiO)^{*2} 削減を支援する活動です。具体的には、複数のプリンターやFAXをお使いの場合は複合機への置き換えによる機器台数の削減などをおすすめしたり、リコー製品の省エネモードや両面印刷の活用を提案しています。さらに機器の導入後は、ご利用状況を月次レポートするサービスのご利用も可能であり、これによってお客様は継続してCO₂および紙削減活動に取り組むことができます。

*1 Total Cost of Ownership

*2 TGOSの展開策として、日本国内ではTEiO(Total Environmental Impact of Ownership: 総所有環境負荷)削減提案を積極的に推進しています。

リコー製品のライフサイクルでのCO₂排出量



グリーンパートナーの集いとCO₂オフセットプログラム

《リコー香港/香港》

2009年7月11日、販売会社リコー香港 (RHK) は、12社16名のお客様を招いてグリーンパートナーの集いを開催しました。会合では、リコーのTGOSコンセプトとRHKのCO₂オフセットプログラム*を紹介し、ゲストスピーカーとしてお招きしたLeoグループ様からオフィスのCO₂削減の事例発表をしていただきました。その後、リコーの製品とサービスのデモンストレーションをRHKのオフィスで実際にご覧いただくグリーンオフィスツアーを行いました。

* お客様のCO₂削減に貢献するため、お客様がリコー製品でプリントする枚数100,000枚ごとにRHKが植樹するものです(2008年12月開始)。



CO₂を見る化する

@Remote ご使用状況報告書サービス

《リコーグループ/グローバル》

リコーグループでは、お客様の機器のご使用状況を分析し、CO₂削減効果を「見える化」してご提示することで、リコー製品の環境負荷削減機能を積極的にご活用いただく活動を展開しています。

「@Remote (アットリモート)*ご使用状況報告書サービス」は、独自の遠隔サポートサービス@Remoteを通じて、収集した製品の利用状況データから消費電力量や紙使用量を試算し、それらをCO₂に換算した結果をご報告するサービスです。そのうえで、製品機能の効果的な使い方やリコーが社内実践から得たソリューションをご提案するなどの取り組みを進めています。

* インターネットなどの通信回線を利用して、機器の使用状況を遠隔診断し、故障の未然防止やトナーの自動配送をするシステム。このインフラを活用し、環境負荷をモニターできるようにしました。 (<http://www.ricoh.co.jp/remote/>)

サステナブルなオリンピックの開催を支援

《リコーカナダ、IKON カナダ、リコーアメリカズコーポレーション、IKON USA／カナダ》

2010年2月に開催されたバンクーバー冬季オリンピック／パラリンピックは、環境・社会・経済に配慮したサステナブル（持続可能）なオリンピックとして「最小の環境負荷で、世界15,000のメディアへ適確な情報発信を」というIT分野の目標を掲げて実施されました。リコーカナダ（RCI）はこの考えに賛同し、オフィシャルメーカーとして協力し、大会で使用する複写機・プリンターの環境負荷削減を支援しました。RCIを中心とする北米のリコーグループは、2006年からこのプロジェクトに取り組み、運営にあたったバンクーバーオリンピック委員会（VANOC）に対し、効率的な機器の配置やシステムの構築、大会終了後の製品リサイクルプログラムなどの提案を行いました。その後も、開催までの機器の導入や運用管理のプログ

ラムなどの準備を着々と整えました。設置した機器はMFP、プリンター、ファクシミリをあわせおよそ2,300台で、総プリント枚数は合計で約1,700万枚（プレ大会を含む）、本大会期間中は、約250名のサポートエンジニアが3つの会場でオンサイト保守にあたりました。オリンピックの感動を瞬時に世界に発信する情報発信体制を損なうことなく、遠隔モニタリングシステム「@Remote」を活用して出力機器の保守と、紙使用およびエネルギーの制御を行い、1週間のCO₂排出を約2.7kg未満に削減しました。今回のプロジェクトでRCIは、VANOCからサステナビリティ・スター賞を授与されました。この賞はオリンピック運営にイノベーションをもたらした持続可能性に寄与する活動に贈られるもので、VANOCは、今回のRCIの削減成果が今後のオリンピックのベースラインになると高く評価しています。

TOPIC

TGOSのグローバル展開

TGOSによる環境負荷削減提案で、 市政府オフィスのカーボンニュートラルを 支援しました。

欧州の販売会社リコネザーランド（RNL）では、TGOSに基づいたオフィス機器の使用状況のアセスメント、提案、導入、レポートティングといった一連の流れによる販売活動がお客様に受け入れられています。2007年度から2009年度にかけて、RNLは、オランダのある市政府の14部門（職員約8,000名）を対象とするオフィス機器更新の入札に参加しました。同市は2010年にカーボンニュートラルを達成することを目指に掲げており、選考にあたっては、「サプライヤーが持つ持続可能性のビジョン」を含む「品質」についての評価が全体の40%と、「価格」（35%）や「アフターサービス」（15%）以上に大きなウエイトを占めていました。6社による競争入札の結果、機器置き換えによる業務効率化やコスト削減提案だけでなく、リコー製品の使用によるTCOとCO₂の削減等を含むお客様のプリント環境の改善をコンサルティング報告として提案したRNLが落札しました。この結果、これまで多種類の機器が混在し、部門ごとに管理されていましたが、これらが集約されました。また@Remoteを用いた機器の一元管理により管理業務とコスト削減が実現し、市政府の業務改善に貢献することができました。



リコー製品が導入された市政府庁舎の窓口

今回のリコー製品導入により見込まれる主な削減効果は以下の通りです。

リコー製品導入により見込まれる主な削減効果

機器台数	1,970台から735台へ(62.7%削減)
TCO削減額(5年間)	270万ユーロ(32.8%削減)
消費電力削減量	77,000kWh／年 (75.3%削減) CO ₂ 換算 33.3t-CO ₂ ／年
紙消費削減量	488万枚／年(10.3%削減) CO ₂ 換算 87.7t-CO ₂ ／年